Unified Managerソフトウェアのインストール、アップグレード、および削除

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/install-windows/concept_overview_of_installation_process_on_windows.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

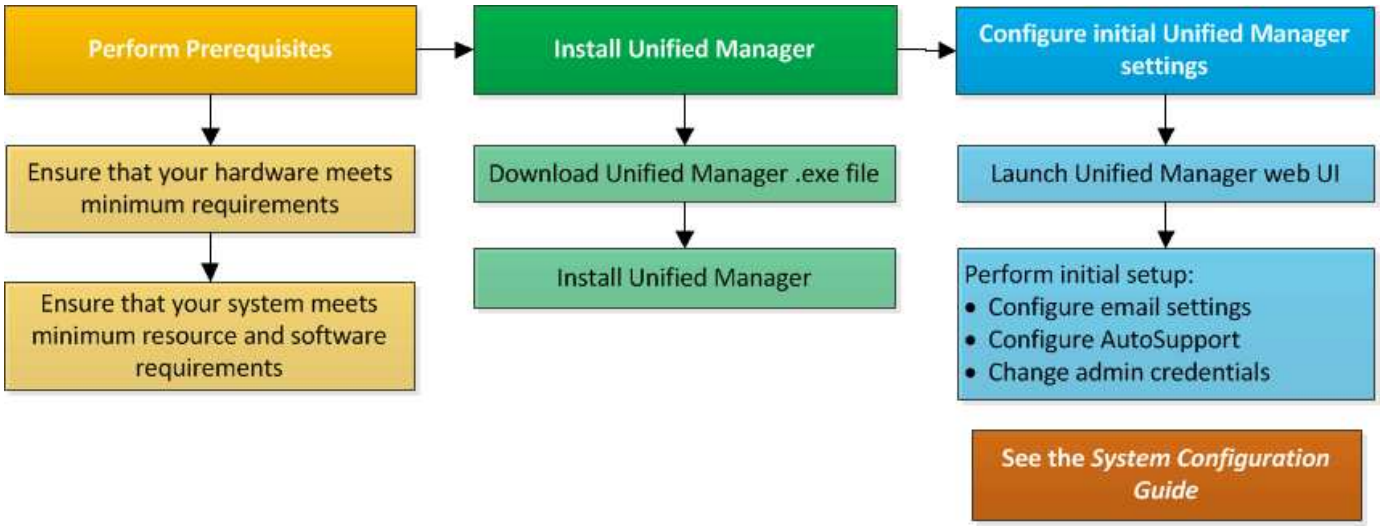
目次

Unified Managerソフトウェアのインストール、アップグレード、および削除 . . . 1
- Windows への Active IQ Unified Manager のインストールプロセスの概要 . . . 1
- WindowsにUnified Managerをインストールする . . . 1
  - WindowsへのActive IQ Unified Managerのインストール . . . 1
  - Active IQ Unified Manager の無人インストールを実行する . . . 3
- Active IQ Unified Manager で Windows の JBoss パスワードを変更する . . . 5
- Active IQ Unified Manager . . . 6
  のバージョンに対してサポートされているアップグレードパスを使用してください
- Windows上でActive IQ Unified Managerをアップグレードする . . . 6
- サードパーティ製品をアップグレードする . . . 8
  - Windows 上の Active IQ Unified Manager でサードパーティ製品をアップグレードする . . . 8
  - Windows 上の OpenJDK を Active IQ Unified Manager 用にアップグレードする . . . 8
- Active IQ Unified Manager のサードパーティ製品をアンインストールする . . . 9
  - Pythonをアンインストールする . . . 9
  - Microsoft Visual C++ 2013 をアンインストールする . . . 9
- Windows で Active IQ Unified Manager を再起動する . . . 10
- Active IQ Unified Manager のアンインストール . . . 10

Unified Managerソフトウェアのインストール、アップグレード、および削除

Windows への Active IQ Unified Manager のインストールプロセスの概要

インストールワークフローには、Unified Manager を使用する前に実行する必要があるタスクが記載されています。



WindowsにUnified Managerをインストールする

WindowsへのActive IQ Unified Managerのインストール

Unified Managerをインストールすることで、データ ストレージの容量、可用性、パフォーマンス、保護の問題を監視してトラブルシューティングすることができます。

開始する前に

- Unified Managerをインストールするシステムがシステムおよびソフトウェアの要件を満たしている必要があります。

  "ハードウェアシステム要件"を参照してください。

  "Windowsソフトウェアとインストールの要件"を参照してください。

  Unified Manager 9.5以降、OpenJDKはインストール パッケージに含まれており、自動的にインストールされます。Unified Manager 9.5以降ではOracle Javaはサポートされません。

- Windowsの管理者権限が必要です。ユーザー名が感嘆符「`!`". Installation of Unified Manager might fail if the user name of user running the installation begins with "!`」で始まらないようにしてください。

- ASA r2システムを除くすべてのクラスタがサポートされます。
- サポートされているWebブラウザが必要です。
- Unified Managerのメンテナンス ユーザのパスワードは8～20文字で指定し、アルファベットの大文字または小文字、数字、および特殊文字を含める必要があります。
- メンテナンス ユーザまたはMySQLのrootユーザのパスワードに次の特殊文字は使用できません。" ' ` % , = & < > | ^ \ / ( ) [ ] ;:

  次の特殊文字は使用できます。~ ! @ # $ * - ? .+ { }

手順

1. デフォルトのローカル管理者アカウントでWindowsにログインします。
2. NetAppサポート サイトにログインし、Unified Managerのダウンロード ページに移動します。

   "NetAppサポート サイト"

3. 必要なUnified Managerのバージョンを選択し、エンドユーザ ライセンス契約（EULA）に同意します。
4. Unified Manager Windowsインストール ファイルをWindowsシステムのターゲット ディレクトリにダウンロードします。
5. 必要に応じて、zipファイルを展開し、インストール ファイルがあるディレクトリに移動します。
6. Unified Managerインストーラの実行ファイル（.exe）を右クリックし、管理者として実行します。

   Unified Managerにより、不足しているサードパーティ パッケージとインストールされているパッケージが検出されて表示されます。必要なサードパーティ パッケージがシステムにインストールされていない場合、Unified Managerのインストール時にインストールされます。

7. *Next*をクリックします。
8. ユーザ名とパスワードを入力してメンテナンス ユーザを作成します。
9. [データベース接続]ウィザードで、MySQLのrootパスワードを入力します。
10. 変更 をクリックして、Unified Manager のインストールディレクトリと MySQL データディレクトリの新しい場所を指定します。

    インストール ディレクトリを変更しない場合は、デフォルトのインストール ディレクトリにUnified Managerがインストールされます。

11. *Next*をクリックします。
12. Ready to Install Shieldウィザードで、*インストール*をクリックします。
13. インストールが完了したら、**Finish** をクリックしてください。
14. Windowsシステムにウイルス対策ソフトウェアがインストールされて有効になっている場合は、インストールの完了後にウイルス対策スキャンの対象から次のパスを手動で除外します。
    - Unified Managerデータ ディレクトリ
    - Unified Managerインストール ディレクトリ
    - MySQLデータ ディレクトリ

インストールが完了すると、次のディレクトリが作成されます。

- インストール ディレクトリ

  インストール時に指定したUnified Managerのルート ディレクトリです。例： `C:\Program Files\NetApp\`

- MySQLデータ ディレクトリ

  インストール時に指定したMySQLデータベースの格納先ディレクトリです。例： `C:\ProgramData\MySQL\MySQLServerData\`

- Javaディレクトリ

  OpenJDKがインストールされるディレクトリです。例： `C:\Program Files\NetApp\JDK\`

- Unified Managerのアプリケーション データ ディレクトリ（appDataDir）

  アプリケーションで生成されるすべてのデータが格納されるディレクトリです。ログ、サポート バンドル、バックアップ、およびその他のすべてのデータが含まれます。例： `C:\ProgramData\NetApp\OnCommandAppData\`

ウェブ UI にアクセスして Unified Manager の初期設定を行うことができます。詳細については、"Active IQ Unified Managerの設定"を参照してください。

Active IQ Unified Manager の無人インストールを実行する

コマンドライン インターフェイスを使用して、手動操作なしでUnified Managerをインストールできます。無人インストールを実行するには、キーと値のペアの形式でパラメータを渡します。

手順

1. デフォルトのローカル管理者アカウントでWindowsのコマンドライン インターフェイスにログインします。
2. Unified Manager をインストールする場所に移動し、次のいずれかのオプションを選択してください：

オプション	手順

サードパーティ パッケージが事前にインストールされている	`ActiveIQUnifiedManager-x.y.exe /V"MYSQL_PASSWORD=mysql_password INSTALLDIR=\"Installation directory\" MYSQL_DATA_DIR=\"MySQL data directory\" MAINTENANCE_PASSWORD=maintenance_password MAINTENANCE_USERNAME=maintenance_username /qn /l*v CompletePathForLogFile"`
	
	例：
	
	`ActiveIQUnifiedManager.exe /s /v"MYSQL_PASSWORD=netapp21! INSTALLDIR=\"C:\Program Files\NetApp\" MYSQL_DATA_DIR=\"C:\ProgramData\MYSQL\MySQLServer\" MAINTENANCE_PASSWORD=* MAINTENANCE_USERNAME=admin /qn /l*v C:\install.log"`

サードパーティ パッケージがインストールされていない	`ActiveIQUnifiedManager-x.y.exe /V"MYSQL_PASSWORD=mysql_password INSTALLDIR=\"Installation directory\" MYSQL_DATA_DIR=\"MySQL data directory\" MAINTENANCE_PASSWORD=maintenance_password MAINTENANCE_USERNAME=maintenance_username /qr /l*v CompletePathForLogFile"`
	
	例：
	
	`ActiveIQUnifiedManager.exe /s /v"MYSQL_PASSWORD=netapp21! INSTALLDIR=\"C:\Program Files\NetApp\" MYSQL_DATA_DIR=\"C:\ProgramData\MYSQL\MySQLServer\" MAINTENANCE_PASSWORD=* MAINTENANCE_USERNAME=admin /qr /l*v C:\install.log"`

`/qr`オプションを使用すると、ユーザーインターフェイスが縮小されたquietモードが有効になります。インストールの進行状況を示す基本的なユーザーインターフェイスが表示されます。入力を求められることはありません。JRE、MySQL、7zipなどのサードパーティ製パッケージがプリインストールされていない場合は、
`/qr`オプションを使用する必要があります。サードパーティ製パッケージがインストールされていないサーバーで `/qn`オプションを使用すると、インストールは失敗します。

`/qn`

オプションを使用すると、ユーザーインターフェイスなしのサイレントモードが有効になります。インストール中は、ユーザーインターフェイスや詳細情報は表示されません。サードパーティ製パッケージがインストールされていない場合は、 `/qn`
オプションを使用しないでください。

3. 以下のURLを使用して、Unified Manager の Web ユーザーインターフェースにログインしてください：

   `https://IP address`

Active IQ Unified Manager で Windows の JBoss パスワードを変更する

インストール時に設定されたインスタンス固有のJBossパスワードをリセットできます。サイトでUnified Managerのインストール設定と違うパスワードが必要な場合、リセットできます。この処理を実行すると、MySQLへのアクセス時にJBossで使用するパスワードも変更になります。

開始する前に

- Unified Managerがインストールされているシステムに対するadmin権限が必要です。
- MySQLのrootユーザのパスワードが必要です。
- ディレクトリ内のNetApp提供の `password.bat`スクリプトにアクセスできるはずです。

  `C:\Program Files\NetApp\essentials\bin`。

手順

1. Unified Managerホスト マシンにadminユーザとしてログインします。
2. Windowsの[サービス]コンソールを使用して、Unified Managerの次のサービスを停止します。
   - NetApp Active IQ Acquisition Service（Ocie-au）
   - NetApp Active IQ Management Server Service（Oncommandsvc）
3. パスワード変更プロセスを開始するには、 `password.bat`スクリプトを起動します：

   ```
   C:\Program Files\NetApp\essentials\bin> password.bat resetJBossPassword
   ```

4. プロンプトが表示されたら、MySQL rootユーザのパスワードを入力します。
5. プロンプトが表示されたら、新しいJBossユーザのパスワードを入力し、確認のためにもう一度入力します。

   パスワードは8～16文字で指定し、数字、大文字、小文字、および次の特殊文字をそれぞれ1文字以上含める必要があります。

   `!@%^*-_=[]:<>.?/~+`

6. スクリプトが完了したら、Windowsの[サービス]コンソールを使用してUnified Managerの次のサービスを開始します。

- NetApp Active IQ Management Server Service（Oncommandsvc）
- NetApp Active IQ Acquisition Service（Ocie-au）

7. すべてのサービスが開始されたら、Unified Manager UIにログインできます。

Active IQ Unified Manager のバージョンに対してサポートされているアップグレードパスを使用してください

Active IQ Unified Managerでサポートされるアップグレード パスはバージョンごとに異なります。

すべてのバージョンのUnified Managerで、新しいバージョンへのインプレース アップグレードを実行できるわけではありません。Unified Managerのアップグレードは、N-2モデルに限定されています。つまり、すべてのプラットフォームにおいて、次の2つのリリースへのアップグレードしか実行できないということです。例えば、Unified Manager 9.14および9.16からUnified Manager 9.18へのアップグレードのみ可能です。

サポート対象よりも前のバージョンを実行している場合は、Unified Managerインスタンスをサポート対象のいずれかのバージョンにアップグレードしてから、最新のバージョンにアップグレードする必要があります。

たとえば、現在Unified Manager 9.9がインストールされていて、Unified Manager 9.14にアップグレードする場合、アップグレード手順は次のようになります。

アップグレード パスの例：

1. 9.11から9.13にアップグレードします。
2. 9.13から9.14にアップグレードします。
3. 9.13から9.16にアップグレードします。
4. 9.14または9.16 → 9.18へのアップグレード

アップグレードパスマトリックスの詳細については、こちら "ナレッジベース（KB）記事"を参照してください。

Windows上でActive IQ Unified Managerをアップグレードする

WindowsプラットフォームでUnified Manager 9.14または9.16から9.18にアップグレードするには、インストール ファイルをダウンロードして実行します。

開始する前に

- Unified Managerをアップグレードするシステムがシステムとソフトウェアの要件を満たしている必要があります。

  "ハードウェアシステム要件"を参照してください。

  "Windowsソフトウェアとインストールの要件"を参照してください。

  Unified Manager 9.5以降、OpenJDKはインストール パッケージに含まれており、自動的にインストールされます。Unified Manager 9.5以降ではOracle Javaはサポートされません。

アップグレードを開始する前に、Microsoft .NET 4.5.2以降がシステムにインストールされていることを確認してください。

- MySQL Community Editionは、Unified Managerのアップグレード時に自動的にアップグレードされます。システムにインストールされているMySQLのバージョンが8.4.10より前の場合は、Unified Managerのアップグレード プロセスによって8.4.10に自動的にアップグレードされます。MySQLを単体で旧バージョンから8.4.10へアップグレードしないでください。
- ASA r2システムを除くすべてのクラスタがサポートされます。
- Windowsの管理者権限が必要です。ユーザー名が感嘆符「`!`". Installation of Unified Manager might fail if the user name of user running the installation begins with "!`」で始まらないようにしてください。
- NetAppサポート サイトにログインするための有効なクレデンシャルが必要です。
- アップグレードで問題が発生した場合にデータが失われないようにするために、Unified Managerマシンのバックアップを作成しておく必要があります。
- アップグレードを実行するための十分なディスク スペースが必要です。

  インストール ドライブに、データ ディレクトリのサイズに加え、2.5GBの使用可能なスペースが追加で必要になります。十分な空きスペースがないと、アップグレードが中止され、追加で必要なスペース量がエラー メッセージに表示されます。

- アップグレードの実行中に、パフォーマンス データの保持期間について、以前のデフォルト設定である13カ月のままにするか6カ月に変更するかを確認するプロンプトが表示されることがあります。変更を確認すると、6カ月を過ぎた過去のパフォーマンス データはパージされます。
- アップグレードする前に、*<InstallDir>\JDK* および *MySQL Data Directory* 内の開いているファイルやフォルダをすべて閉じる必要があります。
- Windowsシステムにウイルス対策ソフトウェアがインストールされて有効になっていると、Unified Managerのアップグレードに失敗することがあります。Unified Managerをアップグレードする前に、システムのウイルススキャン ソフトウェアをすべて無効にしてください。

アップグレード プロセスの実行中は、Unified Managerを使用できなくなります。実行中の処理がある場合は、Unified Managerをアップグレードする前に完了しておいてください。

Unified ManagerをOnCommand Workflow Automationのインスタンスとペアにして使用している環境では、両方の製品のソフトウェアで新しいバージョンを利用できる場合、2つの製品間の接続を解除してから各製品をアップグレードし、アップグレードの実行後にWorkflow Automationの接続を新たにセットアップする必要があります。いずれかの製品のみをアップグレードする場合は、アップグレード後にWorkflow Automationにログインし、Unified Managerからデータを取得していることを確認します。

手順

1. NetAppサポート サイトにログインし、Unified Managerのダウンロード ページに移動します。

   "NetAppサポート サイト"。

2. 必要なUnified Managerのバージョンを選択し、エンドユーザ ライセンス契約（EULA）に同意します。
3. Unified Manager Windowsインストール ファイルをWindowsシステムのターゲット ディレクトリにダウンロードします。必要に応じて、zipファイルを展開し、インストール ファイルがあるディレクトリに移動します。Unified Managerインストーラの実行ファイル（.exe）を右クリックし、管理者として実行します。

Unified Managerから次のメッセージが表示されます。

```
This setup will perform an upgrade of Unified Manager. Do you want to
continue?
```

4. 「はい」をクリックし、次に「次へ」をクリックしてください。
5. インストール時に設定した MySQL84 の root パスワードを入力し、次へ をクリックします。
6. サポートされているWebブラウザの新しいウィンドウでWeb UIを起動し、アップグレード後のバージョンのUnified Managerにログインします。
7. Windowsシステムにウイルス対策ソフトウェアがインストールされて有効になっている場合は、アップグレードの完了後にウイルス対策スキャンの対象から次のパスを手動で除外します。
   - Unified Managerデータ ディレクトリ
   - Unified Managerインストール ディレクトリ
   - MySQLデータ ディレクトリ

Unified Manager のサイレントアップグレードを実行するには、次のコマンドを実行します：
`ActiveIQUnifiedManager-<version\>.exe /s /v"MYSQL_PASSWORD=<password> /qn /l*v <system_drive>:\install.log"`

サードパーティ製品をアップグレードする

Windows 上の Active IQ Unified Manager でサードパーティ製品をアップグレードする

JREなどのサードパーティ製品がWindowsシステムにインストールされている場合は、Unified Managerでその製品をアップグレードできます。

これらのサードパーティ製品の開発元では、定期的にセキュリティ脆弱性が報告されています。これらのソフトウェアは、新しいバージョンに随時アップグレードすることができます。

Windows 上の OpenJDK を Active IQ Unified Manager 用にアップグレードする

Unified ManagerがインストールされているWindowsサーバでOpenJDKを新しいバージョンにアップグレードすることで、セキュリティの脆弱性に対する修正を入手できます。

開始する前に

Unified ManagerがインストールされているWindowsシステムに対するadmin権限が必要です。

OpenJDKは同一リリース ファミリー内でのみ更新可能です。たとえば、OpenJDK 11.0.16からOpenJDK 11.0.18にはアップグレードできますが、OpenJDK 11からOpenJDK 12に直接更新することはできません。

手順

1. Unified Managerホスト マシンにadminユーザとしてログインします。

2. OpenJDKのWebサイトから、該当するバージョンのOpenJDK（64ビット）をターゲット システムにダウンロードします。

   例えば、"Oracle Java SE 17アーカイブのダウンロードページ"から `jdk-17.0.15_windows-x64_bin.zip`ファイルをダウンロードします。

   ファイルをダウンロードするには、Oracleアカウントが必要です。Oracleアカウントをお持ちでない場合は、"Oracleアカウントのサインインページ"にアクセスして作成してください。

3. Windowsの[サービス]コンソールを使用して、Unified Managerの次のサービスを停止します。
   - NetApp Active IQ Acquisition Service（Ocie-au）
   - NetApp Active IQ Management Server Service（Oncommandsvc）
4. `zip`ファイルを展開します。
5. 結果として得られた `jdk`ディレクトリ（例： `jdk-11.0.18`）のディレクトリとファイルを、Java がインストールされている場所にコピーします。例： `C:\Program Files\NetApp\JDK\`
6. Windowsの[サービス]コンソールを使用して、Unified Managerの次のサービスを開始します。
   - NetApp Active IQ Management Server Service（Oncommandsvc）
   - NetApp Active IQ Acquisition Service（Ocie-au）

Active IQ Unified Manager のサードパーティ製品をアンインストールする

Unified Managerをアップグレードした後、PythonやMicrosoft Visual C++ 2013などのサードパーティ製品をアンインストールできます。これは任意です。

Pythonをアンインストールする

手順

1. コントロールパネル*から*プログラム > *プログラムと機能*を選択します。
2. プログラムのリストからPythonを選択します。
3. 「このプログラムをアンインストールする」を選択してください。Pythonのバージョン3.13.3以外はすべてアンインストールしてください。Pythonのバージョン3.13.3を保持していることを確認してください。

Microsoft Visual C++ 2013 をアンインストールする

手順

1. コントロールパネル*から*プログラム > *プログラムと機能*を選択します。
2. プログラムの一覧から **Microsoft Visual C++ 2013** を選択してください。
3. 「このプログラムをアンインストールする」を選択してください。

Windows で Active IQ Unified Manager を再起動する

設定を変更した場合、Unified Managerの再起動が必要になることがあります。

開始する前に

Windowsの管理者権限が必要です。

手順

1. デフォルトのローカル管理者アカウントでWindowsにログインします。
2. Unified Managerのサービスを停止します。

方法	以下の順序でサービスを停止してください...
コマンドライン	a. `sc stop ocie-au` b. `sc stop Oncommandsvc`
Microsoftサービス マネージャ	a. NetApp Active IQ Acquisition Service（Ocie-au） b. NetApp Active IQ Management Server Service（Oncommandsvc）

3. Unified Managerのサービスを開始します。

方法	以下の順序でサービスを開始してください...
コマンドライン	a. `sc start Oncommandsvc` b. `sc start ocie-au`
Microsoftサービス マネージャ	a. NetApp Active IQ Management Server Service（Oncommandsvc） b. NetApp Active IQ Acquisition Service（Ocie-au）

Active IQ Unified Manager のアンインストール

Unified Managerをアンインストールする場合は、[プログラムと機能]ウィザードを使用するか、コマンドライン インターフェイスから無人アンインストールを実行します。

開始する前に

- Windowsの管理者権限が必要です。
- ソフトウェアをアンインストールする前に、Unified Managerサーバからすべてのクラスタ（データ ソース）を削除しておく必要があります。
- MySQLポート3306を許可またはブロックする目的で作成されたファイアウォール ルールは、手動で削除する必要があります。このファイアウォール ルールは自動的には削除されません。

手順

1. 次のいずれかを実行してUnified Managerをアンインストールします。

- *プログラムと機能*ウィザードからUnified Managerをアンインストールする場合は、以下の手順を実行してください：
  i. 「コントロール パネル」 > 「プログラムと機能」の順に移動します。
  ii. Active IQ Unified Manager を選択し、アンインストール をクリックします。
- コマンドラインからUnified Managerをアンインストールする場合は、次の手順を実行します。
  i. 管理者権限でWindowsのコマンドラインにログインします。
  ii. Active IQ Unified Managerディレクトリに移動し、次のコマンドを実行します。

```
msiexec /x {A78760DB-7EC0-4305-97DB-E4A89CDFF4E1} /qn /l*v
%systemdrive%\UmUnInstall.log
```

  サーバでユーザ アカウント制御（UAC）が有効になっていて、ドメイン ユーザとしてログインしている場合は、コマンドラインによるアンインストールを実行する必要があります。

Unified Managerがシステムからアンインストールされます。

2. Unified Managerのアンインストール時に削除されない次のサードパーティ パッケージとデータをアンインストールします。
   - サードパーティ製パッケージ：JRE、MySQL、Microsoft Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージ、Python、および 7zip
   - Unified Managerによって生成されたMySQLアプリケーションデータ
   - アプリケーション ログとアプリケーション データ ディレクトリのデータ

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。